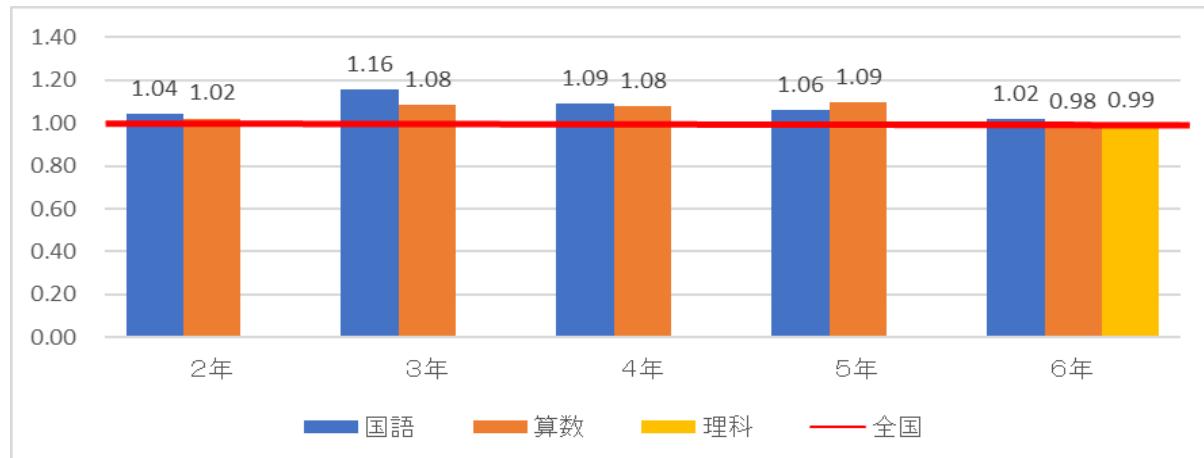


令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について 第一中学校区 東小学校

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「情報の扱い方に関する事項」の設問で全国平均を上回る結果であった。引き続き、複数の情報の関係について、説明文の読解や文章構成の学習を通して指導を行っていく。
	算数	「データの活用」領域の設問で全国平均を上回る結果であった。引き続き、表やグラフから必要な情報を読み取り、目的に応じた考察ができるように指導を行っていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「漢字を文の中で正しく使う」や「話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめる」設問において、全国平均を上回る結果であった。今後も漢字の定着を図るとともに、情報の分類や関係づけを行い、自分の考えをまとめる指導を行っていく。
	算数	「必要な情報を選び、数量の関係を式に表し、計算する」設問において、全国平均を上回る結果であった。今後も、目的に応じた情報を選択し、数量の関係を捉えて表現する指導を行っていく。
	理科	「電磁石の強さはコイルの巻き数によって変わる」設問において、全国平均を上回る結果であった。今後も観察、実験などの技能を身につけるとともに、深い考察や結果の理解が進むよう指導を行っていく。
	質問紙	「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器の活用」について、「自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる」の肯定的回答が全国平均より高く、引き続きまとめや発表のツールとしてICT機器を活用していく。

○学力向上の取組

【 中学校区 】

「考える力・伝える力の育成」をテーマに「聴いて、考えて、つなげる授業」の実践に取り組んでいる。PBIS（ポジティブ行動支援）の手法を取り入れた授業改善にも努めている。

【 学 校 】

多層指導モデルMIMの取組、計算や漢字等の基礎・基本の定着、論理的思考力を育む授業、読書活動の推進、自主学習ノートの取組などを実践することで、学力向上に努めている。